

会 議 録

1 会議名

平成 22 年度 第 2 回横島地域協議会

2 開催日時

平成 22 年 7 月 1 日（木） 午後 4 時から

3 開催場所

玉名市横島町公民館 第 4 会議室

4 出席者

委 員：村上康弘委員、富田 剛委員、田崎由加里委員、三津家由美子委員
森山恵子委員、中道健一委員、志水潤哉委員、丹生正澄委員
大柿貴宏委員、木村總子委員、田上孝則委員、島村弘子委員
宮尾 太委員、

事務局：坂西横島総合支所長、竹本総務振興課長、塚本総務振興課係長、
宮田総務振興課主任
石貫地域振興課係長、浦野地域振興課主任

欠席者

委 員：大崎日出樹委員、小村幸一委員

5 会議の内容

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 横島総合支所 支所長挨拶

(4) 議題

①玉名 2 1 の星事業助成金交付申請について

②その他

(5) 閉会

6 議事の概略・協議結果

(1) 玉名 2 1 の星事業助成金交付申請について

玉名 2 1 の星事業助成金交付申請について諮問され、協議会で適当と認められた。

(2) その他

横島地区の路線バスの有効利用についての意見交換。

7 会議資料

- (1) 会議次第
- 8 傍聴人の数
0人
- 9 非公開の理由
—
- 10 会議録の種類
要点記録
- 11 発言の内容

(事務局)

皆さん、こんにちは。会議に先立ちまして本日は協議会委員15名のうち13名の出席をいただいておりますので、本日の会議が有効に成立することをご報告申し上げます。

それでは只今から平成22年度第2回横島地域協議会を開会いたします。
村上会長よりご挨拶をお願いします。

(会長)

【記載省略】

(事務局)

ありがとうございました。次に支所長がご挨拶を申し上げます。

(支所長)

【記載省略】

(事務局)

次に本日の会議の署名委員を会長より2名指名していただきます。

(会長)

田崎委員さんと三津家委員さんをお願いします。

(会長)

それでは、議題には行ってきたいと思います。

まず、玉名21の星事業の概要について地域振興課から説明にこられておられますので、説明をお願いします。

(地域振興課)

【概要説明】

(会長)

いまの説明に対しまして何か質問はありませんか。

(委員)

玉名21の星事業の交付金の金額についてですが、各校区の人口が違いますが人口比率は考慮していないのですか。

(地域振興課)

人口については考慮しておりません。あくまで1校区30万円が最高となっております。

(委員)

もうひとついいですか。費用対効果の面でどういう考え方から人口に対しての幅がない事業費になっているのですか。

(地域振興課)

人口が多いけれども、面積が狭かったり、逆に人口は少ないけれども面積が広がったりするケース、また、人口が多いからといって必ずしも活動がしやすいとも限らなかつたりして、地域のメリット、デメリットがありますので、一概に人口よっての金額の区別は設けられておりません。

(委員)

今までのこの事業に対しての費用対効果は。

(地域振興課)

今ある地域の特性を活かして地域の皆様が工夫して取り組みをしていただいています。

したがって人口云々の費用対効果を一概に人口比ではみていないという状況です。

(横島校区まちづくり委員会委員長)

【事業内容説明】

(会長)

ありがとうございました。いまの説明に対して質問等はありませんか。

(委員)

いいですか。非常に素晴らしい取り組みをされていると感じました。

先日の新聞をみましたところ干拓堤防等が国の文化財指定ということで掲載されておりましたが、私たちの地域には、国が認めるような文化財が存在します。

今後ぜひこの事業に取り組んでいただいて、私たちの地域の過去をみたり、未来をみたりまた生活環境をみたりということで大きな幅を持って深みのある取り組みだなと感じております。これからも会長を中心に取り組んでいただければと思います。

(会長)

他にありますか。

(副会長)

何年後かには周辺の水路にほたるが飛び交うようになりますか。

(委員)

学びの池を少し広げて5m位でも自然の素掘りにすれば、カワニナが上がってくるしホタルも生まれるので自然にできるのではないのでしょうか。

(副会長)

今は生活雑排水もあれだけ浄化して流しているし、昔からみれば、下水道とかの普及でたいぶ違ってきている。ただひとつは水稲時期の消毒とかがあるかどうかかなと思って。

(委員)

その辺は学びの森の木が茂ってきているので環境的にはよくなってきていると感じています。あとは学校等と相談ができて5m位でも素掘りにして昔の水路の姿にすればどうだろうかと思います。もう1年間かけてもう少し木を増やさないとなんとも言えません。

また学校と町づくりの関係が非常によく一緒に活動しております。先日も県の方から視察にこられて、感動して帰られました。

(委員)

自己資金9万円になっていますが、これは委員会員の会費ですか。

(まちづくり委員会委員長)

自己資金については、作りました。昨年の活動のなかでですね。今年度からこういう形になるのがわかっていましたから。

(委員)

活動のなかで生まれたものですか。

(委員)

去年ですねセブンイレブンから67万円、再春館製菓から自然にやさしい活動をしているから5万円、全部で玉名地区の御樽で20万円、それから玉名中央ロータリーから7万円、それから緑の基金から7万円、全部で100万円位になりはしないかと思います。活動について、人は認めてくれています。そういう状態です。

(まちづくり委員会委員長)

ホテルはですね昔、横島にいたのはヘイケボタルなんです。実際、今、ゲンジボタルを育てていますが、ゲンジボタルは谷川じゃないと育たないということでいま谷川の状況を作っているわけですね。横島のいたるところにホテルがでるためには水田でホテルがでてくるような状況をつくらないとヘイケボタルの出現はないそうです。

(会長)

他にないようですのでこの内容について適当と認めて異議なしということで報告します。

よろしいでしょうか。

(委員)

【はいという声あり】

(会長)

それでは次にその他の件で横島地区の路線バスについてですが、地域振興課から

説明をお願いします。

(地域振興課)

地域振興課の石貫と申します。よろしく申し上げます。今日は特別資料を配っておりませんが、しばらくお耳をお貸してください。

私は地域振興課でバス路線の担当をしております。来年 3 月に新玉名駅が開業されて新玉名駅が田んぼの真ん中にできますが、あそこは今まで何もなかったところですのであちこちからお客様が利用されるためには新玉名駅にバスの路線を申請する必要があります。それで、どのようなところからどのバス路線をいれるかということの話を産交バスさんと一緒にすすめているところです。

今、玉名市内に全部で 26 系統あると思います。それを全部新玉名駅に乗り入れるのが理想なのかもしれませんが、現実、玉名のバス路線 26 系統のうち 25 系統が赤字の路線でございまして運行する経費と運賃収入の差額を、市と国と県で穴埋めして運行していただいているというのが現状でございます。したがってすべての路線を新玉名駅にいれるというのは現実ちょっと考えにくいというところです。ただ利用者のことを考えれば少なくともなんらかの路線の方は新玉名駅の方にいれて利便性を高めていくという考えのもとで産交バスさんと協議をすすめております。

横島の方に今、4 系統バスが走っております。ご存知とは思いますが明豊をでまして大浜を通過して玉名駅、玉名駅を通過して中町を通過してもう一回玉名駅に戻る路線ですが、途中で八番、横島小、栗の尾を通る分、横島小を通らずに大開中の担い手センターから星雲荘のまえを通過して大園担い手センターを通過して栗の尾に行く路線の大きく 2 つに分かれます。それぞれ中町に行かない分、玉名駅で終点というものもありますので全部で 4 系統ございます。この 4 系統の平均乗車率と 1 便にどれぐらい乗ってるかっていう率なんですけれども一番低いので 0.1 人、4 系統のうちで多いのも 1.1 人と、1 人乗ってないという感じです。

平日、明豊行きが 12 本でています。平日 1 日当たりの輸送人員なんですけれども平均ですと 0.1 人というのはほぼ 0 人です。多い路線でも 1 日 5.5 人です。こういう状態で明豊から玉名駅まで路線が運行されています。

先ほど、市から国から県から補助金を出しているという話をしましたが、昨年 1 年間の決算で約 5000 万円産交バスさんの方に補助金が出ております。内訳は市が約 4000 万円だしております。横島線なんですけれども市からの補助金が昨年が約 850 万円、国、県の補助金が約 360 万円ありまして、全体の補助金のうちの 4 分の 1 を占めているということで、今回の新たな新玉名駅に乗り入れをするという見直しのなかで全体的な補助金の額をどこまで増やせるのかという話のなかで、一方で補助金の多い路線というのは見直さざるを得ないという可能性が高いなという路線の協議をするなかででてきたものですからこの場をお借りしまして中間的な考え方を報

告します。

いきなり路線をなくすというのはするつもりはございませんし市民の皆様、利用者の皆様、それと利用はしていないけども将来利用する可能性のあるということでいろいろな方々の意見を踏まえながら見直しをしていきたいと思っております。

それと、産交バスさんがなくなったとしてもそれにかわるなんらかの交通手段というのはつくっていききたいと思っております。

一つの例として天水地区で河内の追分から総合支所まで山の中を走っていた産交バスさんが廃止された代わりに、みかんタクシーと呼んでおりますけどもタクシーの車両を、事前に予約が必要なんですけども 200 円で乗っていただくという代替交通をつくっております、そのおかげでといいますか天水の路線バスに 600 万円補助金を出していたのが予約制のみかんタクシーで 3 分の 1 に補助金が減ったけども逆に利用者は増えているというような状況もございます。そういった例も参考にしながら、仮に路線廃止した場合の代替の方も相談をしながら決めさせていただきたいと思っております。

新幹線が来年の 3 月に開通します。横島線の見直しも 3 月にとというのが一番理想なのかもしれませんが、それにとらわれずに合意形成をしていきながらすすめていきたいと考えておりますのでこれからさきいろいろな方々のご意見を伺う機会があると思っておりますのでご意見の方よろしくお願ひします。

(会長)

只今、説明がありましたけども、説明いただきたいことがあればよろしくお願ひします。

(委員)

すみません。いいですか。

バスの時間はどうやって決められていますか。よければ高校生の朝課外に間に合うようなものを 1 本出してもらえたら、うちは今行ってないんですが、今後行くことがあるんですけど、微妙に時間が間に合わないののでやっぱり親がどうしても送っているんですよ。

(地域振興課)

要望を実際よせていただければ協議させていただきます。

今ですね一番早いのが 6 時 50 分ですね。

(委員)

ちょっと間に合わないんですよ。6 時 30 分位に出たら間に合うんですかねー。

ちょっとそれは学校の方に問い合わせただければですね。

結構、雨降りは乗っている子供さんはいるんですよ。でも間に合わないからどうしても親が出さないといけなくなるんで。

(地域振興課)

玉名駅に7時11分に着きますね。

(委員)

でもそこから歩かないといけないからですね。せっかく出されるんだったら学生さんに優遇されたら利用客が増えるんじゃないかなと思ってそれと帰りなんか部活とかで6時40何分が最終でやっぱり間に合わないから親がどうしても車で行くってということで・・・

(支所長)

バス停は学校に近いところに要望はできるんですか。

(地域振興課)

要望は可能ですけども、路線を大幅に変えるということになるとややこしくなりますね。

(委員)

北稜高校の前には1本停まるやつがありますよね。雨の日とかは栗の尾からとか結構乗ってるんですよ。全体的に割合を見たら1人、2人になるかもしれませんが。

(地域振興課)

時間帯については新しく1便増やすとそれだけ走らせなきゃいけないので。

(委員)

そんなじゃなくて今のなかで、時間をずらすという方法ですよ。

(地域振興課)

想いをよせていただければ協議させていただきます。

(委員)

お願いします。

(支所長)

どうしたらバスに乗るか高校生に聞いてみたらどうですか。

(地域振興課)

そうですね。

(委員)

バスに乗る方向で考えてもらったほうがいいですね。

(地域振興課)

利用者の促進というのは今まで行政はやってなかったんですけどいろんな広報誌でもバスのことを考えていただこうと8月からやるようにしてますし、ホームページでも新しい公共交通というコーナーをつくらせていろんなニュースとか載せるように決めたので、利用者を増やすという方向も、バス事業者じゃないんですけども補助金を出す立場でしていこうと思ってます。

(委員)

大きいバスでなくてもいいと思います。

(地域振興課)

今、使っているのが 15 人乗り位のそんな大きいバスじゃないんですけどね。

それより小さくなるとマイクロバスになりますね。

路線バスにはいろいろな規格があるみたいなんですよ。お客さんを乗せなきゃいけないのでシートの大きさとかですね。

(支所長)

天水のみかんタクシーの利用手続きの仕方はどうしたらいいのですか。

(地域振興課)

みかんタクシーは 1 日 4 便走ってまして、電話されてどこに行くと言っていたらけると。路線バスの代わりなので路線は決めてありますが、路線バスよりも細かく家のそばまで乗せていただけます。乗るところはバス停はありませんので家の前とかですね。何時から何時までの間に 1 便とかある程度の融通がききます。

(委員)

みかんタクシーはどの範囲を 200 円でまわっているのですか。

(地域振興課)

追分から市境等まで全長約 18 k m です。玉名市内は 12 k m ですね。

(委員)

横島から玉名まで往復できますね。

(会長)

タクシーもいいですね。

【雑 談】

(地域振興課)

私が出勤するときに支所に車をおいてこのバスに乗って利用者の声を聞いています。熊本の専門学校に通われてる方が 2 人乗られておりました。それと玉名の高瀬中町でお仕事されてる方で、普段はご主人が送っておられますが週に何回かは送ってもらえないのでこのバスを利用してるんです。という方がいらっしゃるの定期的な利用についてはどうかなと思います。昼には病院行きとかの方もおられると思いますし、利用者の方の声を聞いてみてどうしたらいいのか考えてみたいと思います。

(委員)

わかりました。

(地域振興課)

みかんタクシーの利用者についてですが、4 月が 257 人、5 月が 267 人で大体、毎月 200 人～270 人位の利用があっています。

(委員)

年寄りとか子供にいいようにされたほうがいいので、そんなのを横島でも検討さ

れたほうがいいんじゃないでしょうか。

(地域振興課)

路線バスの代わりというのは必要だと思いますので。

(委員)

大きいバスはいらないですね。道が狭いので危ないからですね。

(委員)

それと、市役所職員もバスで行けるような路線の時間に代えてもらおうと市役所の駐車場も空くじゃないですか職員も積極的にするべきかと思います。

(支所長)

このバスの問題は、私も初めて聞く話ですし、皆さんも初めてだろうと思います。

こういう機会に聞いてもらえばいい意見が相当出ると思います。

(委員)

調査も含めて、天水のタクシーというのはいいいアイデアかと思うので、モデル事業としてできないものですか。もしも見直すのであればですけど。

(地域振興課)

見直しができる一番いいんでしょうけど、今日のところは新駅の乗り入れにあわせて全体的な見直しをかけているということの中間的な経過をお知らせしたということです。

機会をつくっていただければ、説明というか、途中経過でしかないかと思いますが、意見を聞くというのも大事ですので呼びいただければ喜んでまいります。よろしくをお願いします。

(会長)

今の件について他にございますか。

【無しという声あり】

(副会長)

それでは平成22年度第2回横島地域協議会を閉会します。今日はどうもお疲れ様でした。

12 会議録作成者

玉名市横島総合支所 総務振興課 主任 宮田正文

13 会議録署名人署名欄

--	--

14 問合せ先

玉名市横島総合支所総務振興課 TEL : 0968-84-3111 (直通)